

2014年3月27日

第26回再処理・リサイクル部会 全体会議 議 事

- 1. 部会長挨拶**
- 2. 平成25年度 再処理・リサイクル部会 部会賞贈呈式**
- 3. 2013年度活動報告**
- 4. 2013年度予算報告**
- 5. 2014年度活動計画**
- 6. 2014年度予算計画**
- 7. 部会運営委員(2013.9.3)**
- 8. 再処理・リサイクル部会セッション**
- 9. その他**

1. 部会長挨拶

再処理・リサイクル部会

井上 正 部会長(電中研)

2. 第9回再処理・リサイクル部会 部会賞贈呈式

功績賞

学会事故報告書－再処理・リサイクル部会のとりまとめ－

日本原子力研究開発機構 梅田 幹 様

優秀講演賞

テーラー渦誘起型遠心抽出器を用いた多種金属連続相互分離に
及ぼす添加試薬の効果

東京工業大学原子炉工学研究所 中瀬 正彦 様

3. 2013年度活動報告：全体

- (1) 5月10日 拡大運営小委員会・・・平成25年度活動・予算計画、
再処理・リサイクル部会セミナー準備 他
- (2) 6月3日 第9回再処理・リサイクル部会セミナー
- (3) 7月19日 拡大運営小委員会・・・全体会議、ぎんぎんセミナー準備 他
- (4) 8月19～20日 第5回ぎんぎんセミナー
- (5) 9月3日 第25回部会全体会議(八戸工大)
- (6) 9月29日～10月3日 GLOBAL2013(米国)
- (7) 11月22日 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー報告 他
- (8) 1月31日 拡大運営小委員会・・・活動/予算(H25実績とH26計画)、
全体会議準備
- (9) 3月 平成25年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定
- (10) 3月27日 第26回部会全体会議(東京都市大)
- (11) その他 課題議論WG、SA研究WG、テキスト作成WG
- (12) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

3. 2013年度活動報告：トピックス(その1)

(1) 課題議論WG

<活動報告>

課題議論WGでは、現在の日本の再処理あるいはもっと大きな視点で
核燃料サイクルが抱える課題を明確にすると共に
再処理あるいは核燃料サイクルのあるべき姿を議論し、
学会として社会に提言すべく活動を行っている。

特に、本WGは、将来の再処理あるいは核燃料サイクルを議論するため、
中堅および若手の研究者で構成している。

本年度は、2回(幹事だけの集まりを含めると3回)開催した。

(1) 課題議論WG

<活動報告 つづき>

○第1回 10月8日

1回目はフリートーキングにより、WGではなにを議論すべきなのか、学会の多く存在する専門委員会となにが異なり、存在意義はなにかも含めて議論した。

結果、本WGでは、制度やシステムの面から原因を検討し、技術的課題をより効率的に解決し、持続的な研究開発、改善の可能となる制度やシステムの在り方について議論し、それによって日本が再処理リサイクル分野で進むべき方向性について提言を行うこととし、現在の閉塞感を打破し、日本が再処理リサイクル分野でリーダーとなるための一助となることを目標とする。

○第2回 2月21日

2回目は、現在世界でトップを走っていると考えられるフランスの状況について、日本とどこが違うのか、日本として学ぶところはどこにあるのか、などを調査し、参考になる点を学んだ。

3. 2013年度活動報告：トピックス(その2)

(2) SA研究WG

- 核燃料サイクル施設における内的及び外的事象に起因する重大事故を科学的・技術的観点から選定する方法について検討した。15回のWG会議を実施し、その成果の取り纏めを行った。
- 核燃料サイクル施設シビアアクシデントに関する以下の2件の意見提出を行った。
 - ①「使用済燃料再処理施設の新規制基準(重大事故対策)骨子案」(平成25年8月12日)。
 - ②「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令及び東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設についての核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の特例に関する政令の一部を改正する政令(仮称)(案)」等(平成25年10月11日)。

3. 2013年度活動報告：トピックス(その3)

(3) テキスト作成WG

- ・趣旨：燃料サイクルに関するテキストは既にいくつかあるが学会として情報発信したものがないことから、学会という中立・公正な立場で燃料サイクルに関する最新の技術の解説を主としたテキストを作成する。

Phase IIに引き続き、核燃料サイクルの技術の詳細及び最近の技術動向を網羅したPhase IIを作成する。

- ・追加する内容(案)：

第1章：原子力発電と核燃料サイクル

- シビアアクシデントの対策、核不拡散活動の実際、我が国の燃料サイクル政策、世界の燃料サイクル政策、トリウム燃料サイクル

第6章：核燃料再処理

- 高速炉燃料再処理、熔融塩再処理

第7章：放射性廃棄物処理・処分

- 直接処分、福島廃炉に伴い発生する廃棄物の種類と量、重大事故時に発生する汚染水の処理

第8章(新規)：分離・変換

- 分離・変換の技術、ADS窒化物等、FR酸化物、FR金属等

《Phase Iテキストは、再処理・リサイクル部会のHP

(<http://www.aesj.or.jp/~recycle/top.html>)にて公開中》

3. 2013年度活動報告：トピックス(その4)

(4) クリーンアップ分科会での活動

- ①JA南相馬の協力のもと、Cs移行試験を継続(H24年度からの経年効果確認)。
- ②除染情報プラザへの専門家派遣継続(除染アドバイザーとして派遣)。
- ③学会事故調査委員会に参画し、報告書執筆。
- ④「福島第一原子力発電所事故に係るサイト外緊急時対応の調査及び環境修復活動の検討に関する報告」作成と分科会HPにおける公開
(<http://www.aesj.or.jp/CU/index.html>)

第1章 サイト外緊急時対応の調査

- 1.1 食品、飲料水の出荷制限等について
- 1.2 放射性物質による環境汚染とその除染

第2章 環境修復活動の検討

- 2.1 環境修復後への初期の対応としての環境放射線モニタリング
- 2.2 汚染された地域の除染対策 ―法体系とガイドラインについて―
- 2.3 除染の対象とする区域の設定
- 2.4 政府、自治体の除染体制
- 2.5 除染技術
- 2.6 減容
- 2.7 除染廃棄物等の仮置場・中間貯蔵施設・最終処分
- 2.8 学会による環境修復への対応

4. 2013年度予算報告

	項目	予算計画 (円)	予算実績 (円)	内 訳
収 入 の 部	収入			
	一般正味財産			
	1. 本部予算 (配分金)	262,000	262,000	
	2. 独自事業予算	1,360,000	1,072,000	部会セミナー、ぎんぎんセミナー参加費
	指定正味財産			
	3. 繰越金取崩 収入	2,701,000	726,024	Global2011, Global2005等 余剰繰越金 ¥ 11,309,621から
	収支 計	4,323,000	2,060,024	
支 出 の 部	支出			
	1. 本部予算 (配分金)			
	・ 会議費	0	10,935	ぎんぎんセミナー (一部)
	・ 旅費交通費	50,000	0	
	・ 通信運搬費	3,000	685	宅急便
	・ 諸謝金	159,000	202,780	燃料サイクルテキスト執筆謝礼 (一部)
	・ その他 (上記以外)	50,000	47,600	部会賞副賞
		262,000	262,000	
	2. 独自事業予算			
	・ 会議費	720,000	641,390	部会セミナー・ぎんぎんセミナー
	・ 旅費交通費	2,090,000	641,980	部会セミナー・ぎんぎんセミナー講師旅費、GLOBAL2013学生補助 (1名)、福島特別PJ活動旅費、課題議論WG・SA研究WG委員旅費
	・ 通信運搬費	10,000	5,550	宅急便
	・ 消耗品費	5,000	4,796	
	・ 一般外注経費	530,000	100,736	福島特別PJテキスト作成
	・ 出展費	0	25,000	マイクロバス
	・ 諸謝金	191,000	81,624	燃料サイクルテキスト執筆謝礼 (一部)
	・ その他 (上記以外)	515,000	259,680	GLOBAL2013学生補助 (2名)、ぎんぎんセミナー学生補助 (2名)、セミナーポスター賞副賞、振込手数料
	・ 本部回収額	0	37,268	
		4,061,000	1,798,024	
	支出 計	4,323,000	2,060,024	
本部予算収支戻		0	0	
独自事業予算収支戻		-2,701,000	-726,024	
2013年度予算収支戻		0	0	
H26年度への繰越金 (指定正味財産)			10,583,597	

5. 2014年度活動計画:全体

- (1) 4月 拡大運営小委員会・・・平成26年度活動・予算計画 他
- (2) 7月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー準備 他
- (3) 8月 第6回ぎんぎんセミナー
- (4) 9月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー報告、
再処理・リサイクル部会セミナー準備 他
- (5) 9月8～10日 第27回部会全体会議(京都大)
- (6) 10月頃 ANUP(韓国、済州島)
- (7) 12月 第10回再処理・リサイクル部会セミナー
- (8) 12月 拡大運営小委員会・・・活動/予算(H26実績とH27計画)、
- (9) 2月 拡大運営小委員会・・・全体会議準備、部会セミナー報告 他
- (10) 2月 平成26年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定
- (11) 3月20～22日 第28回部会全体会議(茨城大)
- (12) その他 課題議論WG、SA研究WG、テキスト作成WG
- (13) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

5. 2014年度活動計画：トピックス

(1) 第6回ぎんぎんセミナー：8月予定

- ・テーマ：未定
- ・場 所：青森原燃テクノロジーセンター（予定）
- ・大学関係者の皆様には、学生の参加を勧奨いただくようお願いする。
（部会から交通費を助成する）

(2) 第10回再処理・リサイクル部会セミナー：12月予定

- ・テーマ：再処理工場における安定操業へ向けた取り組み（仮題）
- ・主 旨：六ヶ所再処理工場は本年10月に竣工後、本格操業する予定である。
本セミナーでは、六ヶ所再処理工場における安定操業へ向けた取り組みについて議論する。
- ・プログラム（予定）：
 - － 六ヶ所再処理工場における安定操業へ向けた取り組み
 - － ラ・アーグ再処理工場における安定操業のための取り組み

6. 2014年度予算計画

	項目	予算 (円)	2013年度 (円)	比較増減 (円)	内 訳
収入の部	収入				
	一般正味財産				
	1. 本部予算 (配分金)	250,000	262,000	-12,000	
	2. 独自事業予算	1,500,000	1,360,000	140,000	部会セミナー、ぎんぎんセミナー参加費
	指定正味財産				
	3. 繰越金取崩 収入	2,438,000	2,701,000	-263,000	余剰繰越金から
	収 支 計	4,188,000	4,323,000	-135,000	
支出の部	支出				
	1. 本部予算 (配分金)				
	・ 会議費	0	0	0	
	・ 旅費交通費	2,140,000	50,000	2,090,000	福島特別PJ活動旅費(15万×12月)、課題議論WG・SA研究WG委員旅費、企画セッション講師旅費【独自予算では無く、本部予算に組み入れ】
	・ 通信運搬費	3,000	3,000	0	切手、宅急便
	・ 諸謝金	540,000	159,000	381,000	燃料サイクルテキスト(phase2)執筆謝礼(50万)、企画セッション講師謝金
	・ その他 (上記以外)	50,000	50,000	0	部会賞副賞
		2,733,000	262,000	2,471,000	
	2. 独自事業予算				
	・ 会議費	700,000	720,000	-20,000	部会セミナー・ぎんぎんセミナー
	・ 旅費交通費	300,000	2,090,000	-1,790,000	部会セミナー・ぎんぎんセミナー講師旅費、学生旅費補助(3万×5名)
	・ 通信運搬費	15,000	10,000	5,000	宅急便・郵便
	・ 消耗品費	15,000	5,000	10,000	
	・ 一般外注経費	340,000	530,000	-190,000	セミナーテキスト作成費、マイクロバス
	・ 出展費	0	0	0	
	・ 諸謝金	60,000	191,000	-131,000	
	・ その他 (上記以外)	25,000	515,000	-490,000	セミナーポスター賞副賞、振込手数料など
	・ 本部回収額	0	0	0	
		1,455,000	4,061,000	-2,606,000	
	支 出 計	4,188,000	4,323,000	-135,000	
	本部予算収支戻	-2,483,000	0		
	独自事業予算収支戻	45,000	-2,701,000		
	予算収支戻	0	0	0	
2017年度への繰越金 (指定正味財産)			8,145,597		2013年度の10,583,597から本年度取崩2,438,000を引いた額

7. 部会運営委員(2013.9.3)

部会長:	井上 正	(電中研)	
副部会長:	藤田 玲子	(東芝)	分担
運営委員:	梅田 幹	(原子力機構)	庶務
	渡邊 大輔	(日立)	庶務
	黒田 一彦	(三菱重工)	会計
	塚原 剛彦	(東工大)	会計
	赤澤 孝	(関電)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	飯塚 政利	(電中研)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	稲垣 八穂広	(九大)	企画(国際WS、ぎんぎんセミナー)
	染谷 浩	(三菱マテリアル) .	企画(部会セミナー、国際WS)
	加瀬 健	(原子力機構) . .	企画(ぎんぎんセミナー、部会セミナー、部会HP)
	澤田 佳代	(名大)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	鈴木 達也	(長岡技大)	企画(学会企画セッション、ぎんぎんセミナー)
	大西 貴士	(原子力機構) . .	広報(ぎんぎんセミナー、部会セミナー)
	立花 武憲	(日本原燃)	広報(部会セミナー、ぎんぎんセミナー)
	佐藤 修彰	(東北大)	広報(国際WS、学会企画セッション)
	多賀 純一	(東芝)	広報(学会企画セッション、国際WS)
	中熊 哲弘	(東電)	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	齋藤 巖	(日本原燃)	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	野上 雅伸	(近畿大)	広報(学会企画セッション)
	日山 伸行	(原燃工)	広報(部会セミナー、国際WS)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会/東電)、近藤駿介(原子力委員長)、田中知(学会福島特別プロジェクト代表)

参与: 野村茂雄、小山智造、峯尾英章、天野治、駒義和、藤田雄二、森田泰治、松村達郎、小泉務、小山真一(JAEA)、鈴木一弘、鈴木一雄、富田邦裕、向原進、徳森律朗、山澤正俊(東電)、子安徹人(関電)、西村友宏(電中研)、池田泰久(東工大)、松本史朗(JNES)、田辺哲朗(九大)、山名元、白井理(京大)、山村力(東北大)、浅沼徳子(東海大)、倉重有幸(原燃工)、半沢正利、大場一鋭(MMC)、有田裕二(福井大)、森行秀(MHI)、深澤哲生、星野国義、鴨志田守(日立GE)、山田和矢(東芝)、中村裕行、加納正規(JNFL)、波多野守

8. 再処理・リサイクル部会企画セッション (共催:クリーンアップ分科会)

「福島の実状と環境修復」

(3月26日(水) 13:00～14:30、I 会場)

座長(東芝) 藤田 玲子

(1) 福島の実内部被ばくと外部被ばくについて
ー 福島の実ロングテール ー

(東京大) 早野 龍五様

(2) 営農再開に向けた農地除染、放射性物質移行
低減対策技術開発の実状

(農水省) 中谷 誠様

9. その他(お知らせ)

最近、原子力学会和文誌への投稿が極めて少ない状況であるとのことでした。

部会員の皆様の積極的な投稿をお願いいたします。